

5

平成 25 年 度
東 濃 西 部 広 域 行 政 事 務 組 合
一 般 会 計 、 特 別 会 計 歳 入 歳 出
決 算 審 査 意 見 書

東 濃 西 部 広 域 行 政 事 務 組 合 監 査 委 員

東 広 監 第 1 号
平成 26 年 7 月 17 日

東濃西部広域行政事務組合
管理者 多治見市長 古川 雅典 様

東濃西部広域行政事務組合

監査委員

尾岡 恵一

監査委員

水野 和昭

平成 25 年度東濃西部広域行政事務組合一般会計、特別会計
歳入歳出決算審査意見書の提出について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 292 条において準用する同法第 233 条第 2
項の規定により審査に付された平成 25 年度東濃西部広域行政事務組合一般会計、特別
会計歳入歳出決算について審査した結果、次のとおり意見を付して提出します。

1 審査の期日 平成 26 年 6 月 30 日

2 審査の対象

- (1) 平成 25 年度東濃西部広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 平成 25 年度東濃西部ふるさと活性化基金特別会計歳入歳出決算
- (3) 平成 25 年度東濃看護専門学校事業特別会計歳入歳出決算
- (4) 平成 25 年度東濃西部少年センター事業特別会計歳入歳出決算
- (5) 平成 25 年度東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算
- (6) 平成 25 年度東濃西部看護師修学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- (7) 平成 25 年度東濃西部広域行政事務組合各基金運用状況

3 審査の結果

審査に付された決算書に基づき、歳入歳出関係諸帳簿並びに証拠書類を照合した結果、決算計数は符合して誤りのないことを確認した。

4 決算の概要

平成 25 年度における当組合の 6 会計の決算総額は、歳入 364,983,357 円、歳出 355,316,007 円で、歳入歳出差引額は 9,667,350 円で、主なものとして、ふるさと活性化基金特別会計で 5,304,079 円、看護学校特別会計で 1,782,991 円となっている。

主歳入財源である各市負担金については、総合計が 179,891,000 円で、全体の 49.3% を占めており、圏域住民一人あたり 838 円の負担となっている。

(1) 一般会計

◎ 歳入について

第 1 款 分担金及び負担金

一般経費負担金として 29,840,000 円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。

(単位：円)

市 名	多治見市	瑞浪市	土岐市	合 計
金 額	12,317,000	8,170,000	9,353,000	29,840,000

第 2 款 使用料及び手数料

畜犬登録手数料、注射済票交付手数料及び再交付手数料として、8,930,590 円が収入となっている。

第 3 款 繰越金

前年度繰越金として、1,684,458 円が収入となっている。

第 4 款 諸収入

雑入で嘱託職員の雇用保険個人負担分等 28,284 円となっている。

◎ 歳出について

第 1 款 議会費

当年度組合議会は定例会 2 回が開催されている。支出済額 124,162 円のうち主な支出は議員報酬の 116,000 円であった。

第2款 総務費

総務費は予算現額 30,407,000 円に対し、支出済額が 29,676,654 円となっている。
主な支出は一般管理費で職員等の人件費 26,224,246 円となっている。

第3款 衛生費

衛生費は予算現額 9,319,000 円に対し、支出済額が 8,923,191 円となっている。
主な支出は 3 市への畜犬登録事務交付金が 4,856,024 円、嘱託職員等の人件費が 2,602,679 円である。

(2) ふるさと活性化基金特別会計

◎ 歳入について

第1款 県支出金

消費者行政活性化基金事業費補助金として、1,756,053 円が収入となっている。

第2款 財産収入

ふるさと活性化基金の運用利息として、19,660,297 円が収入となっている。

第3款 繰越金

前年度繰越金として 707,769 円が収入となっている。

第4款 諸収入

雑入で嘱託職員の雇用保険個人負担分 11,549 円となっている。

第5款 繰入金

ふるさと活性化基金繰入金が 5,013,000 円となっている。

◎ 歳出について

第1款 総務費

歳出総額は 21,844,589 円となっており、2 目ふるさと振興費の主な支出は、東濃西部ふるさと活性化基金補助金 3,000,000 円、広域自主研修事業委託料として 1,696,870 円となっている。

平成 25 年度の補助対象事業及び補助金額は次のとおりである。

事業名	補助金額(千円)
多治見市(ビジネスフェア「き」業展に対して補助)	1,500
瑞浪市(夢づくり地域交付金事業の2対象事業に対して補助)	600
土岐市(土岐市定住促進奨励金に対して補助)	900

また、平成 25 年度広域自主研修の実施結果は次のとおりである。

研修内容	対象	受講者数
キャリアデザイン研修	一般職員	24名
業務改善研修	一般職員	20名
技能労務職員研修	一般職員	20名
法制執務研修	一般職員	23名
政策法務研修	一般職員	18名
タイムマネジメント研修	一般職員	20名

3目消費生活相談費の主な支出は、嘱託職員等の人件費3,327,087円となっている。

第2款 商工費

歳出総額は8,854,270円となっており、主な支出は、観光パンフレットの増刷費用として2,784,600円、東濃西部地域観光番組制作放送広告料として5,405,400円となっている。

(3) 東濃看護専門学校事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

運営費負担金として53,287,000円、施設費負担金として25,058,000円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。 (単位：円)

区 分	運営費負担金	施設費負担金	計
多治見市	16,002,000	10,675,000	26,677,000
瑞浪市	5,496,000	4,072,000	9,568,000
土岐市	31,789,000	10,311,000	42,100,000
合 計	53,287,000	25,058,000	78,345,000

第2款 使用料及び手数料

使用料及び手数料は36,399,000円で、主な内訳は授業料31,980,000円、入学金3,600,000円、入学試験料570,000円となっている。

第3款 財産収入

看護専門学校財政調整基金の運用利息として22,500円が収入となっている。

第4款 繰入金

財政調整基金繰入金として8,671,950円が収入となっている。

第5款 繰越金

前年度繰越金として1,000,000円が収入となっている。

第6款 諸収入

諸収入は10,230,356円で、主な内訳は、教材実習費5,028,000円、施設整備協力金5,050,000円となっている。

◎ 歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は107,828,921円となっており、主な支出は職員等の人件費82,925,799円、消耗品費、光熱水費、修繕料などによる需用費6,341,237円、施設清掃及び空調設備点検等の委託料4,900,255円、その他学校運営に係る費用となっている。

第2款 公債費

公債費として元金24,271,367円、利子785,527円を支出した。

公債費の支出及び平成25年度末未償還元金は次のとおりである。

(単位：円)

区 分	支 出 内 訳		借 入 年 月 日	25年度末 未償還元金
	元 金	利 子		
普 通 債	24,271,367	785,527	H6.5.6	0

(4) 少年センター事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

運営費負担金として14,546,000円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位:円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
7,737,000	2,684,000	4,125,000	14,546,000

第2款 繰越金

前年度繰越金として、605,769円が収入となっている。

第3款 諸収入

嘱託職員雇用保険の自己負担分等として27,552円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 教育費

歳出総額は14,358,366円で、主な支出は嘱託職員等の人件費8,099,987円、旅費の指導員費用弁償分2,213,000円、車両購入等の備品購入費1,346,100円である。

年度別の指導状況及び少年相談件数は次のとおりである。

年度	平成25年度	平成24年度	比較
活動回数 (回)	435	423	+12
活動人員 (人)	1,757	1,831	△74
指導人数 (人)	139	129	+10
電話相談 (件)	26 (23)	69 (47)	△43
面接相談 (件)	2 (2)	35 (39)	△33
メール相談 (件)	12 (5)	21 (10)	△9

※ 〈 〉 内は相談人数を表す。

(5) 東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

組合負担金として50,800,000円の収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位:円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	中津川市	恵那市	合計
80,000	8,280,000	17,880,000	16,280,000	8,280,000	50,800,000

第2款 財産収入

東濃地域医師確保奨学基金の運用利息として、103,230円が収入となっている。

第3款 繰入金

基金繰入金として72,600,000円の収入となっている。

第4款 県支出金

岐阜県地域医療確保事業費補助金として7,200,000円の収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は130,703,230円で、主な支出は奨学生への貸付金65,400,000円、東濃地域医師確保奨学基金積立金60,103,230円となっている。

(6) 東濃西部看護師修学資金貸付事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

組合負担金として6,360,000円の収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位：円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
1,910,000	656,000	3,794,000	6,360,000

第2款 繰入金

基金繰入金として5,220,000円の収入となっている。

第3款 諸収入

東濃西部看護師修学資金償還金として、180,000円が収入となっている。

第4款 県支出金

岐阜県地域医療確保事業費補助金として5,040,000円の収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は16,800,000円で、支出は貸付金5,220,000円、東濃西部看護師修学資金積立金11,580,000円となっている。

(6) 各基金運用状況

①東濃看護専門学校財政調整基金

本基金は、東濃看護専門学校施設の整備改善、災害若しくは事故により生じた経費の財源又はやむを得ない理由により生じた経費の財源に充てるために設置されたものである。

平成24年度末基金残高20,760,363円に平成24年度決算剰余金の内1,330,123円と平成25年度の基金運用収入22,500円を積み立て、パソコン等購入のため8,671,950円を取り崩した。平成25年度末残高は13,441,036円である。

②ふるさと活性化基金

本基金は、東濃西部地域の振興整備の事業に資するため設置されたものである。

消費者行政活性化事業費補助金1,756,053円、平成25年度の基金運用収入19,660,297円等を各種事業費に充てたのち、986,000円を活用した。平成25年度末残高は1,014,167,000円である。

③東濃地域医師確保奨学基金

本基金は、東濃地域医師確保奨学資金等の貸付のための経費に充てるために

設置されたものである。

各市からの負担金 50,800,000 円、償還による負担金 2,000,000 円、県補助 7,200,000 円及び基金運用収入 103,230 円を積み立て、平成 25 年度貸付額 65,400,000 円、事務費 400,000 円、償還のため 6,800,000 円を取り崩した。平成 25 年度末残高は 82,661,729 円である。

④東濃西部看護師修学資金貸付基金

本基金は、東濃西部看護師修学資金の貸付のための経費に充てるために設置されたものである。

各市からの負担金 6,360,000 円、償還による 180,000 円及び県補助 5,040,000 円を積み立て、平成 25 年度貸付額 5,220,000 円を取り崩した。平成 25 年度末残高は 6,360,000 円である。

5 指摘事項

指摘事項は特にないが、要望事項は次のとおりであるので、今後はこれらの事項に留意し、事務に取り組んでいただきたい。

【東濃西部広域行政事務組合一般会計】

狂犬病の予防注射の接種率が減少している。狂犬病は非常に恐ろしい病気であるので、より多くの方に接種の重要性を PR されたい。

【東濃西部ふるさと活性化基金特別会計】

消費生活相談の事例は複雑化しており、相談件数も非常に多い。必要によっては指導員を増員するなど、より充実化を望む。

活性化補助金について金額は限られているが、地域が本当に活性化されるものに補助されたい。また、定額補助であることから、広域組合の PR のため、総事業費に対し補助充当率のより高い事業に補助されたい。

【東濃看護専門学校事業特別会計】

多額の税金が投入されているので、より地域に根差した看護師の育成をお願いしたい。建設債の償還に伴い、今後は老朽化対策を見据えた運営を行っていただきたい。

【東濃西部少年センター事業特別会計】

相談件数の大幅な減少がみられる。より学校とのタイアップを行い、PR を強化していただきたい。

【東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計】

この地域の医師不足はまだまだ解消されていないので、この事業は引き続き継続することを希望する。

【東濃西部看護師修学資金貸付事業特別会計】

この地域の看護師不足は顕著であるので、この事業は引き続き継続することを希望する。